

大和郡山 防災ニュース 6. 3月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、様々な取組や防災情報を提供します。

歩けるんだけど、災害時の避難は少し不安という皆様へ

「マイ個別避難計画」をつくって ご近所同士の助け合いを！

普段はお一人でお散歩やお買い物などに行かれている皆さんも、テレビで能登半島地震の現地映像を見ていると、あの状況で一人で避難所にはとても行けないなあ、心細いだろうなあ、とお感じになられている方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。しかし、社会の高齢化や地域コミュニティの衰退で、いざという時の地域からの支援は受けにくくなっており、また大災害の初期には消防署や市役所などからの支援(公助)は手が回らないと思われれます。そんな時、普段から挨拶を交わしているご近所さんは心強いパートナーに感じるのでは、と想像できます。日常のうちに、いざ災害時、ご近所同士が助け合う「近助」体制づくりをしていただけないでしょうか！



「マイ個別避難計画」の作成手順は！

①まず、ご近所で一緒に避難する人(避難同行者)を決めてください



ご近所でいつも挨拶や会話を交わしている方に声掛けしてみましよう！被災地の映像を見て不安に思っておられる方はあなただけでは無いと思います。「いざという時、一緒に避難しない？」と声掛けすれば、「私も不安だったの、よかった！」という会話も生まれるかもしれません。

なお、近所にご親戚がおられる場合などでその方と一緒に逃げる事が決まっているならそれでも大丈夫です。

※一緒に避難する方には必ず御相談やお声がけの上、記入作成してください。
相手方がご存じないと、いざという時の確実な同行避難者が確保できません。

②避難するタイミングを決めてください

基本的に、風水害・土砂災害であれば「高齢者等避難」(レベル3)の発令時です。地震の場合は、集合場所を決めておいてお互いの被害状況を報告し合い、次の行動を決めてはいかがでしょうか？ただ、大阪北部地震の時、地震後も怖くてしばらく体が動けなかった方が、民生委員さんなどからの電話連絡に「ホッとした。」というケースもたくさんあったようです。電話がつながる状況ならば、安否や被害状況を確認し合い、気持ちの面でもお互い助け合いましょう。



③どの道を通して避難するか決めてください(いくつかの避難経路を考える)



避難経路は、崖や土砂が崩れそうな場所、落石の恐れがあるところは避けましょう。また地震の場合は狭い道、ブロック塀沿い、頭上に看板や変電トランスがある所、水害・土砂災害の場合は普段の雨でも水の通り道になっているところはできるだけ避けましょう。なお、通学路は比較的安全な道が多いので参考にできます。



④避難開始を自治会の誰に伝えるかを決めておきましょう

いざという時に高齢者同士などで避難しますので、避難途上でのような困難な状況に出会すかわかりません。もしもの時に備えて、御自身の避難行動を自治会や近隣住民に知らせておきましょう。

⑤ ①～④の内容を「マイ個別避難計画」の所定の用紙に記入して完成

「マイ個別避難計画」は、①御自身の保存用、②市への提出用、③自治会(自主防災組織)への提出用の3部を作成します。③は必ずしも提出する義務はありませんが、万が一の避難途中の遭難等に備えて提出されることをお奨めします。

「マイ個別避難計画」の用紙は市民安全課へ!

「マイ個別避難計画」をつくってみようとお考えの方は市民安全課に用紙がありますのでご来庁もしくは、お電話で郵送をご依頼ください。市内では既に1700人以上の要支援者の方々が作成されました。一緒に避難する人は決まったけど、計画の書き方がわからない方、その他聞きたいこと、わからない

ことがあれば、市民安全課までお気軽にお尋ねくださいね!

自治会などの防災出前講座依頼も受付中です

お気軽に市民安全課(市役所4階1番窓口
電話53-1151(内線629))にご相談ください。

このニュースは、市民安全課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、公民館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース 検索

発行人 市役所市民安全課